

田村市のさらなる飛躍を誓う



田村市新春交歓会が1月5日、ウェディングプラザ丸美で開かれました。新年のあいさつの場として広く活用できる会にしてほしいとの要望があり、今回は申し込み方式を取り入れ、市内の各種団体・企業から前回より1割程度多い203人が出席しました。

冒頭に、富塚市長が「来春の合併10周年に向け、交通網や医療・教育施設の整備、企業誘致、観光振興などの施策を充実し、事故や災害のない安全安心な市を目指す」と述べ、吉田市商工会広域連携協議会長も年頭のあいさつをしました。来賓では猪瀬市議会議長、玄葉・菅野両衆議院議員、荒井参議院議員、本田・先崎両県議会議員から祝辞をいただきました。富塚たむら農業協同組合代表理事組合長の乾杯で懇談し、盛会の中、震災からの復興と市勢発展を誓い合いました。

吉田市商工会広域連携協議会長も年頭のあいさつをしました。来賓では猪瀬市議会議長、玄葉・菅野両衆議院議員、荒井参議院議員、本田・先崎両県議会議員から祝辞をいただきました。富塚たむら農業協同組合代表理事組合長の乾杯で懇談し、盛会の中、震災からの復興と市勢発展を誓い合いました。

世界の文化・音楽で交流を深める



田村市国際交流協会事業「ハート to ハート in 田村」が12月15日、船引公民館で開かれ、約120人が参加しました。

今年のテーマは、「ともだちになろう ～いろいろな人とおしゃべりをしよう～」。

参加者は、外国語での伝言ゲームや世界のクイズ、日本語教室、ゴスペル教室の発表を楽しみ、地元の美味しい料理を堪能しました。最後はみんなでチキンダンスを踊り、笑顔で交流を深め合いました。

牧野の田んぼに白鳥が飛来



今年も大越町牧野地区の田んぼに冬の渡り鳥ハクチョウが飛来し、愛くるしい姿を披露しました。

今シーズン最初の飛来は昨年11月で、十数羽が水面にくちばしを差し込み、餌をついばんでいました。今年1月には20羽近くまで増え、雄大な山をバックに優雅に泳いでいて、親子連れや近くを通るドライバーが足を止め目を奪われていました。地元では食パンなどの餌を与えたり、遠くから毎日見守ったりして、ハクチョウたちが過ごしやすい環境づくりに長年努めてきました。

堂山王子神社で防災訓練



国指定重要文化財の堂山王子神社（船引町門沢地区）で、防災訓練が1月19日に行われました。地元住民と消防団員、消防署員ら49人が参加して初期消火や放水などの訓練を行い、文化財保護への意識を新たにしました。

堂山王子神社に門松奉納



船引町門沢の上田中吹上会と谷草会、双六会は毎年共同で地元の堂山王子神社に門松を奉納していて、今年で30年の節目を迎えました。今年は27人（会員は48人）の会員が地区内の材料で門松を作り、無病息災や豊作を祈願して奉納しました。

クリスマス会を満喫



アソベンチャークラブが12月26日、常葉体育館で鬼ごっこドッチボールを行い、元気いっぱい体を動かしました。公民館に移動してケーキを食べながらのビンゴゲームも盛り上がりました。6年生が中心となった楽しいクリスマス会でした。

吹矢でストレス解消



常葉公民館で11月1日から4回にわたり毎週金曜日にスポーツ吹矢教室が行われました。受講生は胸式と腹式呼吸を組み合わせた呼吸法を学び、呼吸だけで体が温まることに感動していました。また、的に矢が当たると、笑みがこぼれていました。

ステンドグラスの造形美

船引町出身で日本美術家連盟会員、彫刻家の吉野ヨシ子さんが指導する「親子アート教室」が船引公民館で開かれました。4組の親子が参加し、ステンドグラスを使って思い思いの作品作りに挑戦。親子で助け合いながら楽しく作業し、ペンダントやキャンドルスタンド、小物入れ、インテリアの壁掛けなどを完成させました。親子の作品は吉野ヨシ子さんの彫刻とともに1週間展示されました。

来館した皆さんが、吉野さんのダイナミックで洗練された作品に魅入っていました。

